

ボッチャ

○ボッチャとは

ボッチャボール（赤・青）をジャックボール（白）に近づけるように投げて、得点を競いあう競技でパラリンピックでも採用されているスポーツです。

○用具

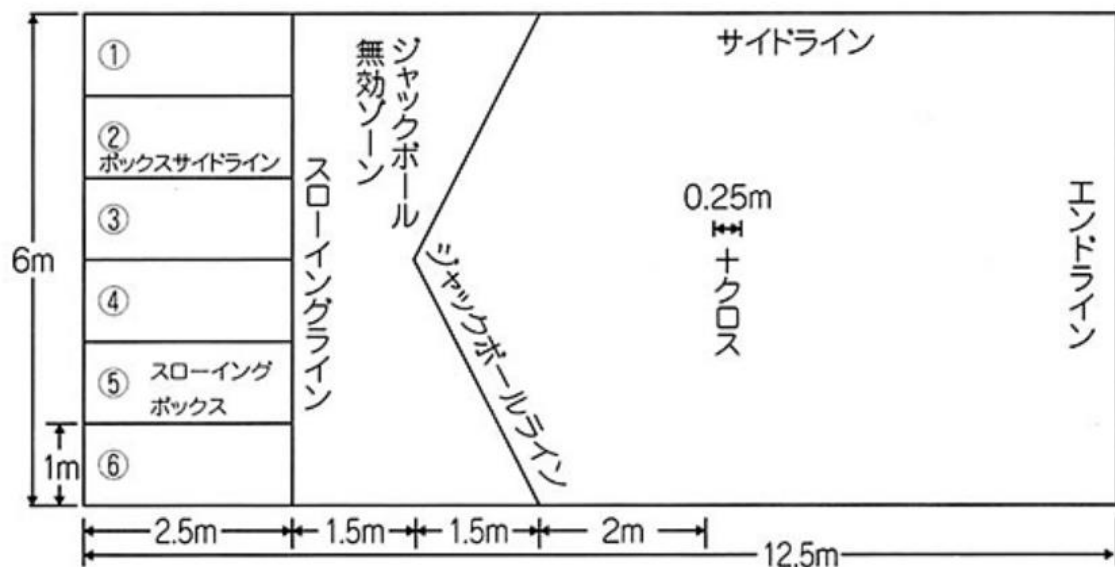
- ・ジャックボール（白） 1 個
- ・ボッチャボール 12 個（赤 6 個、青 6 個）

○コート

広さ 6m×12.5m

スローイングボックス 1m×2.5m（6ボックス）

無効ゾーン 6m×（最長3m、最短1.5m）



○ゲーム進行

①先行後攻をじゃんけんなどで決める（先行：赤、後攻：青）

②先行側（赤）はスローイングラインより手前からジャックボールを投げる

※ジャックボールがコート外やジャックボール無効ゾーンに入った場合は、先行後攻が入れ替わり、（青）がジャックボールを投げる。

③先行側がジャックボールを投げたら続けて 1 投目の投球を行う。

④後攻側が 1 投目を投げる。

⑤先行後攻の色のボールでジャックボールに最も近いボールを比較して、遠いチームが次のボールを投げる。

⑥⑤を続けて、片方のチームのボールがなくなるまで続ける。

⑦ボールが残ったチームは残りのボールを投げる。

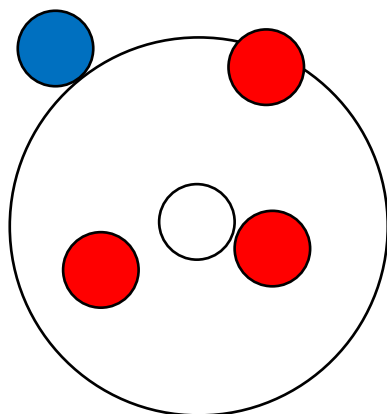
○得点のつけ方

- ・ジャックボールに一番近い相手のボールよりもさらに近い位置にある自分のボールの数×1点 が得られる。
- ・異なった色の2個以上のボールがジャックボールから最も近い位置に等距離にあった場合は、各ボールにつき1点となる。

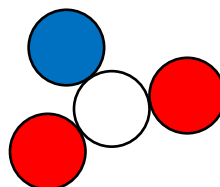
○その他

- ・ゲーム中にジャックボールがコート外に出た場合は、+クロスにジャックボールを移動させてゲームを続ける。

(例)



赤が3点



赤が2点。青が1点